



841号
 〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
 日港福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール rouren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



6月25日(木) 第4回検数労連26夏季一時金交渉14:00~15:30 夏季一時金有額回答提示！昨夏比プラス回答も組合要求との関係 では不十分！『乗率部分』での上積みを求め継続交渉へ

【2026年度夏季一時金回答書(全日検)】(抜粋)

1. 支給額
 (1) 職員
 算式(本給+役付)×乗率+一律+α
 職員平均(254,882円)×1.75+40,821円+α

		全国一人平均 486,865円+α
① 一律	= 1年以上5年未満	全国一律 28,000円
	10年未満	全国一律 33,000円
	15年未満	全国一律 38,000円
	20年未満	全国一律 43,000円
	25年未満	全国一律 48,000円
	25年以上	全国一律 58,000円
② α	= 調整加算	
(2) 勤続年数一年未満の職員		本給×2.0ヶ月
(3) 見習職員		全国一律 80,000円
(3) 準職員	半年未満	全国一律 40,000円
	1年未満	全国一律 70,000円
	5年未満	全国一律 90,000円
	10年未満	全国一律 120,000円
	10年以上	全国一律 130,000円
(4) 契約職員		全国一律 160,000円

2. 支給日 2026年7月10日(金)
 ただし、5銀行営業日までの妥結意思表明を条件とする。

3. その他
 (1) 支給日当日の在籍者に対し、2026年6月1日現在の身分給与にて計算し支給する。

【2026年度夏季賞与に関する回答書(日検協会)】(抜粋)

1. 支給額
 (1) 職員・雇員
 (本給+家族手当)×乗率+一律+α
 (229,966円+10,121円)×2.15ヶ月+60,000円+α
 240,087円+2.15ヶ月=516,188円
 全国平均 576,188円+α

(2) 試用期間中の職員
 {(本給+家族手当)×乗率+一律+α}×0.8×在籍日数/180日

2. 支給日 2026年7月10日(金)

3. 支給対象者 2026年7月10日現在の職員、雇員

【第4回交渉】
 6月25日(木) 第4回検数労連26夏季一時金交渉で、組合は両協会に対し有額回答の提示を求め、交渉を行いました。

【全日検】
 前回交渉でも説明したが、2025年は鉄鋼や検査業務の落ち込みもあり減収となった。また、既存の検査業務の不透明な部分など厳しい事業環境にあるなかで、新年度も4月・5月・6月の推移を注視している状況ではあるが、中東情勢の悪化による原油高やナフサの不足による諸物価高騰から従業員を守るべく、昨夏を上回る回答を構築した。

【日検協会】
 今夏季賞与について、これまでの交渉でも説明してきた通り、今夏季賞与の回答構築の判断材料となる2025年度下期の事業収益は、料金改定等の収益対策による増収効果もあったが、倉庫や鉄鋼関係の取り扱い減による減収分を補うまでには至っておらず、複数の支部で計画を下回る結果となった。

今後の事業収益の見通しにおいても世界情勢等の様々な影響が懸念されるが、諸物価高騰による従業員の生活負担を少しでも緩和し、モチベーションの向上に繋がるよう最大限の回答を構築した。

【組合主張】
 組合は両協会からの回答を受け、休憩を挟み内容を検討し、交渉再開後、次の通り主張し、次回交渉までに修正回答を提示するよう求めました。

【両協会に対して】
 ①金額的には昨夏比プラスであり一定評価できる。しかしながら、現回答では諸物価高騰による生活費の上昇に追い付いておらず、組合員の生活実態を踏まえた回答になっていない。
 ②業績を支え、安定した事業運営に貢献してきた従業員の努力や現場の実情が十分に反映されていないこと(不満)である。

③本交渉でアルファ回答が示されず、回答方法の見直しを強く求める。
 ④要求との関係では不満であり、『乗率部分』での修正回答を求める。

【全日検に対して】
 ①家族・地域年齢手当について、回答算式に入っておらず不満である。
 ②昨夏比で一律回答が引き下げられて不満である。
 ③依然として準職員、契約雇員の全国一律低額回答に不満であり、更なる増額を求める。

【日検協会に対して】
 ①都市加算が回答算式に入っておらず不満である。

次回交渉: 第5回 検数労連26夏季一時金交渉 6月29日(月) 15:30~